

# 平成27年度 事業並びに運営計画

“「夢と希望に輝く松本の子どもたち」の教育のために  
松本市教育会全会員の英知を結集しよう”

## I. 基本方針

- (1) 所属感のある松本市教育会にしよう  
全会員の積極的な参画により、お互いにかかわりを深めながら研修に取り組み、職能の向上が図れるようにしていきたい。
- (2) 創造性のある松本市教育会にしよう  
夢と希望に輝く子どもの育成をめざし、魅力的な教育の創造のための研究を推進していきたい。
- (3) 開かれた松本市教育会にしよう  
教育会の未来像を構想し、他団体や地域との連携を強化する中で、教育の将来について、ともに考え合えるようにしていきたい。

この目的達成のために、次のⅡ～Ⅵの事業を行う。

## Ⅱ. 教育研修の事業

### 1. 定期総集会

- (1) 期 日 5月16日(土) 午後
- (2) 会 場 長野県松本文化会館(キッセイ文化ホール) 大ホール
- (3) 講演会 講師 諏訪中央病院名誉院長 鎌田 實(かまた みのる)先生  
演題 ～命を支えるということ～  
「がんばらない」けど「あきらめない」

- ・全会員による貴重な研修の場とするとともに、開かれた教育会をめざし、PTAやコミュニティー・スクール運営委員、学校評議員、信濃教育会賛助会員、さらに地域にも参加をよびかける。
- ・土曜日開催、キッセイ文化ホール(大ホール)の使用を踏まえ、全会員協力のもとに成功裏に終わらせたい。

### 2. 教科等研修会(教育会、校長会共催)

小学校6地区、小学校理科・音楽専科会、中学校教科等、小中共通道徳・特別活動・総合的学習・特別支援教育・学校保健の研修会を7月28日(火)午後を開催予定。

＜ 会員の希望により、原則として、どの研修会場にも参加可。＞

ただし、小学校地区会場で人数制限のある講座は、その地区内優先 >

### 3. 教育講演会

学校や家庭が抱える教育諸問題等についての理解を深めるための講演会を行い、教師及び保護者・地域の方々を交えて、松本の子どものための教育について考え合う機会とする。

- ・8月3日(月)午後 松本市教育文化センター(視聴覚ホール)で開催予定。

#### 4. 新規採用者懇談会

信濃教育会と共催で行い、企画運営は共生委員会に委嘱する。(啓発育成部が世話)  
・5月21日(木)午後3時30分から松本市教育館で開催予定。

#### 5. 信濃教育会関係の大会・講座講習会等

(1) 第129回 信濃教育会総集会(諏訪大会) 諏訪市文化センター

・期 日： 7月4日(土)

・講 師： 宮田 亮平(みやた りょうへい)先生  
金工作家 東京藝術大学学長

演 題： 「夢を探そう」

・信教からの要請人数(100名)を派遣する。

※平成28年度の総集会は、平成28年7月2日(土)(松本市民芸術館)の予定。

(2) 第67回 日本連合教育会研究大会(富山大会)(富山県民会館 他6会場)

・8月20日(木)～21日(金) (信教からの派遣者数は40名)

(3) 生涯学習センター講座

・哲学の道 8月2日(日)「西田幾多郎研究」 信教生涯学習センター

・わたしの生涯学習 9月5日(土)「悲哀の一茶」 信教生涯学習センター

(4) 青年教師フォーラム

・20代30代の青年教師によって委員会を構成。委員数は16名。

・期日、会場、内容等は、委員会で検討中。

(5) 生涯学習臨地講習・基礎講座

・信濃の国探訪 南信 ※28年度から実施する。

・吹奏楽・金管バンド 伊賀良小学校 5月23日(土)

・合 唱 (上田)西小学校 5月9日(土)～10日(日)

・書写 書道 信濃教育会館 8月6日(木)～7日(金)

・発達障害の子どもの理解と支援 8月3日(月)～4日(火)

・オーケストラ 生涯学習センター 6月26日(金)～27日(土)

・美 術 生涯学習センター 8月3日(月)～5日(水)

・理科観察・実験 県下4地区 7月下旬～

(6) 14回“信州教育の日” 塩尻市(レザンホール) 11月21日(土)

(7) その他

・第39回長野県同和教育研究大会 11月21日(土)・22日(日)

・松塩筑地区教育研究集会共催 9月5日(土)

### III. 教育研究の事業

#### 1. 教科等研究委員会(13委員会)

研究テーマ 「学習指導要領の趣旨をふまえた学力向上のための授業改善をいかに  
図るか」

(1) 教科等研究委員会で「学習指導要領の趣旨をふまえた学力向上のための授業改善」  
の実践研究を行い、その研究結果を各校に発信し、日々の授業改善に生かせるよう  
にする。

(2) 「松本の子どものためのカリキュラム」の活用を進めるとともに、確かな学力の  
定着・豊かな心の育成をめざして、更なる検討・進化・発展を図る。

(3) 教育課程研究協議会指定校と連携した研究や研修企画に協力する。

(4) 小中一貫の委員会を設置し、小中間のつながりを重視した研究をすすめる。

- 1 国語科研究委員会
- 2 社会科研究委員会
- 3 算数・数学科研究委員会
- 4 理科研究委員会
- 5 音楽科研究委員会
- 6 図工・美術科研究委員会
- 7 保健・体育科研究委員会
- 8 技術・家庭科研究委員会
- 9 外国語活動・英語科研究委員会
- 10 生活科研究委員会
- 11 道徳研究委員会
- 12 特別活動研究委員会
- 13 総合的な学習の時間研究委員会

#### 教科等研究委員会

- i 世話係と委員6名程度で構成し、委員の互選で委員長を選任する。  
ただし、生活科の委員は4名程度とする。
- ii 委員は小中よりほぼ同数を選任する。
- iii 世話係は校長・教頭から選任する。

#### 各種委員会

- i 委員は委員長を含めて4～10名程度とする。
- ii 委員長は校長・教頭から選出し、委員の中から互選で副委員長を選出する。

## 2. 各種委員会（9委員会）

- (1) ①会報会誌（10名） ②社会科資料（小5名、中5名） ③自然（8名）  
④共生（8名） ⑤周年事業（4名） ⑥映像記録（5名） ⑦ホームページ作成（5名） ⑧展覧会（科学展4名、図工・美術展、4名、習字展4名、\*各校教科主任）、⑨地図委員会（4名）

※各種委員会は、前年度まで構築してきた委員会の活動を定着・充実させる方向が求められている。

※地図委員会を発足させる。

- (2) 人権教育研究は、校長会の「人権教育研究委員会」とともに進めていく。

## 3. 信濃教育会全県研究大会・道徳教育研究協議会

- (1) 信教全県研究大会は、日々の授業改善に役立つ研修の場と位置づけ、会員が研究テーマと研究内容を踏まえ、自校の課題を明確にして、全県的視野で率先して研究に取り組む機会とする。

※松本 11月19日（木）本郷小(外国語活動)・島内小(体)・山辺中(国)・鎌田中(社)

・佐久 10月28日（水）小諸市東小・坂の上小・芦原中・御代田中

・飯水 11月10日（火）秋津小・常磐小・城南中

・下伊那 11月 5日（木）松尾小・上郷小・旭が丘中・飯田西中・高陵中

- (2) 道徳研究協議会は、信濃教育会・道徳教育調査委員会の研究テーマを主体的にとらえ、道徳資料の活用を中核にして、体験活動を生かした心の教育の充実と資料のあり方を研究する。

・10月22日（木）明善小学校で開催。

※平成28年度は、梓川小学校の予定。（平成29年度は、女鳥羽中学校の予定）

## IV. 研究支援の事業

### 1. 個人研究補助・信濃教育会「教育実践賞」

- (1) 個人研究補助希望者を募集する。（10名程度）
  - ・応募者には一人当たり2万円を補助する。
  - ・研究報告は、2月上旬所定の報告書を提出する。（A4 4ページ程度）
- (2) 信濃教育研究実践賞希望者を募集し、推薦する。（10名程度）
  - ・応募者には、松本市教育会からも一人当たり2万円を補助する。
  - ・研究報告は、信教の指定に従って提出する。

## 2. 県外視察研修派遣・信濃教育会海外研修派遣

- (1) 県外視察研修は15名程度を派遣する。(同一人の連続派遣については検討する)
  - ・派遣者に一人当たり4万円を補助する。
  - ・1～3施設を2日間に視察することを原則(2日を2回に分けることも可)とする。
  - ・美術・音楽・芸能鑑賞なども研修と認める。
  - ・派遣者は、研修終了後速やかに所定の報告書(A4:4ページ以内)を提出する。
- (2) 信濃教育会海外視察研修の希望者を推薦する。(中止になる可能性あり)
  - ・第34次日中友好長野県教育者訪中団  
10月10日(土)～17日(土) 派遣人数18名。

## 3. 同好会・講習会・講演会

- (1) 同好会  
松本市教育会の重要な活動の一つとして位置づけ、より多くの会員の勧誘に努め、魅力的かつ充実感の持てる同好会活動にしていく。
  - ・21同好会の活動を援助する。
  - ・同好会発足日は、5月15日(金)
- (2) 講演会行事
  - ・教科等・各種委員会、同好会等で講演会を計画し、その講演会に会員の聴講を募る。
  - ・講演会開催の折には、講師謝礼の一部(2万円)を補助する。

## V. 啓発育成の事業

### 1. 会報・会誌

- (1) 会報は年3回(他に定期総集会案内1回)、会誌は年1回発行する。
- (2) 教育会の事業の様子、教育実践の情報、会員の論文・アイデア・随想などを取り上げ、親しめる誌面作りを通して、教育会への関心を高めるとともに、会員相互の意思疎通を図るものとする。

### 2. 松本市児童生徒作品巡回展

松本市の児童・生徒の科学作品、図工・美術作品、書写・書道作品のコンクールを行い応募作品を各校に巡回し参考にする。

### 3. 「花や緑のある写真展」

「花や緑のある写真展」を松本市教育委員会、松本市校長会と共催し、複数の会場で開催する。(26年度の写真は、市役所、なんなん広場、Mウイング、松本駅で写真展を開催し、教文センター2階に常設展示しています。)

## VI. その他

1. 「松本市教育会の事業」を紹介するポスターを作製し、事業に対する広報活動の充実を図る。
2. 信濃教育会賛助会員や地域の方々の参加が可能な同好会、研修会、講演会等については、ホームページ等で公表する。